

施策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	5-2	政策名	持続可能で健全な財政運営	政策の目指す姿	財政を健全に維持しています	施策主管課	収納課	施策主管課長名	平野 克則
	施策No.	2	施策名	自主財源の確保	施策の目指す姿	市税等の自主財源が確保されています	関係課名	財政課、市民税課、資産税課、秘書政策課		
	現状と課題	・本市の自主財源は、歳入全体に占める地方交付税を下回っており、その地方交付税も特例措置の終了により減少が見込まれています。行政活動の自主性と安定性は、自主財源の中でも大きな割合を占める市税収入の多寡に左右されることから、より安定した市税等の確保が大きな課題となっています。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)安定した自主財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○公平かつ適正な課税 <ul style="list-style-type: none"> ・家屋全棟調査等の実施。 ・税務署との同一会場での市県民税等の申告相談を実施。 ○納税意識の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・納税相談の実施。納税貯蓄組合活動への支援。 ○納期内納付の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・口座振替納付制度の利用促進。市広報やFMラジオ等による納期限の周知。コンビニ収納の周知。郵便局窓口収納の準備 ○市税、使用料、手数料等の収納率の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・収納率 市民・固定・諸税H26年度94.37%→H27年度95.29%(+0.92%)、国保税H26年度79.75%→H27年度80.47%(+0.72%)、後期高齢H26年度99.01%→H27年度99.04%(+0.03%)、介護保険料H26年度98.06%→H27年度98.17%(+0.11%) ○滞納処分の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・滞納整理の早期着手、差し押さえ、公売を実施。 ・岩手県地方税特別滞納整理機構へ職員を派遣し高額・困難案件の滞納整理を実施。 ○イーハトーブ花巻応援寄付金の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・5,000円以上の寄付を行った寄付者に対して記念品を送付。
----------------	---

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	家屋全棟調査事業	資産税課	A	B
	H20～27年度の期間で、市内全域の家屋について実地調査を行い、課税台帳と現存家屋との照合により未課税家屋の捕捉と評価を実施。(H27調査棟数:8,981棟)			
2	収納対策事務	収納課	A	-
	滞納市税等の収納、納税相談、未納者への滞納処分を実施。広報等による口座振替・コンビニ収納の周知。(差押件数:600件、換価取立:1,172件,87,595千円)			
3	イーハトーブ花巻応援寄附金推進事業	秘書政策課	A	A
	花巻市の特産物、温泉宿泊券や航空券付き宿泊券など記念品の拡充(H26 36品→H27 163品)を行ったほか、各種メディアやSNSなどを通じ全国にPRを行った。(H26実績:282件6,820千円→H27実績:15,994件200,489千円)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・イーハトーブ花巻応援寄附金推進事業

5,000円以上の寄付を行った寄付者に対して、希望する記念品を贈ること、クレジットカード決済の導入など、寄付者が寄付しやすい環境を整えたことから寄付者・寄付額が増となった。今後も花巻の特産品の掘り起しを行い、記念品の充実を一層図る必要がある。寄付件数の増加に伴い、事務処理に多くの時間を要するようになったことから、管理システムを導入し効率化を図る必要がある。

(新たに取り組むべき事業はないか)

・郵便局窓口での税等の納付を可能とする。

市税と介護・後期高齢者医療保険料の窓口納付を可能とすることで、納税者の利便性を確保し収納率の向上につなげる。

6 施策の総合的な評価

(課題)

・イーハトーブ花巻応援寄附金の記念品選定については、一定の節度を持って実施することが必要である。

・寄付件数の増加に対応した事務体制やシステムの導入が必要である。

(今後の方向性)

・イーハトーブ花巻応援寄附金寄付者に対する記念品の選定にあたっては、総務省の要請事項に留意し、花巻の特産物の掘り起しに努める。

・イーハトーブ花巻応援寄附金に係る事務については、管理システムを導入し効率化を図る。

・税関係については、一層の公平かつ適正な課税と収納に努める。

・郵便局窓口での税等の納付を可能とする。